



自衛隊栃木地方協力本部

宇都宮文星女子高等学校と環境美化活動 ～学校との信頼関係の醸成にも一役！学生と清掃活動に従事～



自衛隊の紹介をする小林1曹



地本前の道路の清掃の様子
(左：末吉1曹、右：廣谷事務官)



地本前の道路の清掃の様子
(中央：管理班長 廣谷事務官)



地本前の道路の清掃の様子
(中央：管理班長 廣谷事務官)

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、9月9日（土）栃木地本本部（宇都宮市）前において、宇都宮文星女子高等学校サッカー部が実施している「愛ロード環境美化活動」支援を実施した。この活動支援は、毎年自衛官候補生等受験者が出てくる同女子高の担当教諭から広報官への情報提供をきっかけとして始まったものであり、今回で19回目となる。

当日は、朝早く集まった3人の先生を含む39人の女子サッカー部員とともに路肩の草むしりや清掃などを実施した。清掃実施後には女性自衛官の広報係長小林1曹から学生たちに向け自衛隊の話をするなど自衛隊についてPRすることもできた。活動に参加した学生からは「この活動で、地域の皆さんが気持ちよく道路を通ってもらえたら嬉しいです」「女性自衛官の話が聞けて良い経験になりました」など話してくれた。

栃木地本は「今後も、学校への協力・交流を通じ地域活動を積極的に実施していくことで、学校との信頼関係及び地域との信頼関係を醸成し、自衛隊の理解推進へと繋げていく」としている。

自衛隊宇都宮北家族会研修（百里基地）

宇都宮募集案内所は、「今後も、各協力団体との連携を密にして自衛隊に対する理解と信頼を高めることに努め、募集活動につなげていく」としている。



F-2前で集合写真を撮影する家族会

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、9月11日（月）自衛隊宇都宮北家族会（会長 國井宮子）29名の航空自衛隊百里基地研修支援を行った。最初に百里基地の概況説明を受け、百里基地の歴史、所在部隊の説明及び戦闘機部隊の配置等の内容を知ることができた。広報資料館見学ではF4EJ改の再現コックピットに触れたりMC15（方形傘）を背負う体験、その他沢山の展示物や資料を見学した。その後、格納庫に移動し、戦闘機（F-2戦闘機）及び救難機（UH-60J、UH-1H5A）の見学を行い、パイロットから装備品や任務内容について詳細な説明を受けた後、F-2戦闘機前で記念撮影を行った。研修者は真剣な眼差しで説明に聞き入り、「実物の戦闘機や救難機はやはり迫力がありますね」「平素の任務や訓練内容等を知ることができた」「隊員の皆さんが1年365日不断の警戒態勢を整えていることや、日夜訓練に励んでいることが確認でき頼もしく感じた」との感想を述べた。また、百里基地が首都圏に所在する唯一の戦闘航空団を擁する基地であり、首都圏防空の要となる重要な航空基地であることの理解を深めるとともに、対領空侵犯措置（スクランブル発進）、災害派遣に備え日夜訓練に励んでいる隊員への期待と信頼をさらに高めた様子であった。体験喫食では「揚げ鱈の野菜鍋掛け」のメニューが提供され、研修者からは「とてもおいしい、なかなか体験できないことなので嬉しいです」と好評を得ていた。百里基地見学後、JAXA筑波宇宙センターを見学し、各種人工衛星をはじめスペースステーション（宇宙「ミ」）に関すること等様々な説明を受け、宇宙に関する見識を深めていた様子であった。